



# 大阪早稲田倶楽部 NEWS

## てくてくハイキング 山辺の道ウオーク&素麺手延べ体験



記念撮影

てくてくハイキングは猛暑の7、8月はお休みで9月から再開しました。

まだ暑いので夏の代表的な食べ物である素麺を、老舗の㈱「三輪そうめん山本」の工場直営のレストランで味わい、手延べ製法を体験する企画を9月17日に18名が参加して実施しました。素麺は乾麺しか販売されていませんので、自分が手延べした生の素麺を持って帰って食べてみると、全く違った味に驚きます。

てくてくハイキングは雨天の場合には順延か中止ですが、手延べは前日から熟成の仕込みをするため当日のキャンセルは不可で雨天決行です。このためにウオークは雨天を考慮して、山辺の道の大神神社から松原神社としました。

このコースは三輪山の麓の樹林を歩き、ハイキングの気分も味わえます。当日は台風16号の影響も無く、秋雨前線も南下し

て晴天に恵まりました。

最初の大神神社では今日の企画が順調に行く様にお祈いしました。次は狭井神社です。拝殿の左後ろにこの神社の由来になっている神水の井戸「狭井」があります。ここから湧き出る水は昔から薬水と呼ばれていて、我々も健康をお祈りしながら飲みました。湧水なので冷たく美味しい水でした。

近くの大美和の杜の展望台からは大和三山の耳成山、畝傍山、香久山が一望でき、その後ろに金剛山、葛城山、二上山が霞んで見えるのを楽しみました。松原神社までは樹林の中の緩やかなアップダウンを歩いて22分で到着。この神社も摂社で三輪山の中にある磐座を「神体」にしているのが、本殿と拝殿が無く原始神道の面影を残しています。

手延べをする「麵ゆう館」まで30分ですが、遅れているのでペー

スを上げました。彼岸花が綺麗に咲き、稲穂が実った大和路の秋の景色を眺めながら歩きました。予定より11分遅れて開始4分前に着いてセーフ。

先ずビデオで手延べ素麺の、工程を見ました。その後実際に引つ張って伸ばしました。かなり力が要ります。長い箸を使って素麺をさばくのが面白かったです。太い素麺が直径1.3ミリまで切れずに伸びるのに感心して珍しい体験をしました。

懇親会はJR奈良駅「わたみん家」。出席者14名で16時20分開始、話が大きい盛り上がり、終了は何と19時10分でした。

時枝奉之(昭45年院・理工研)



第54回食べ歩き会

# 信貴山・千手院を訪ねて

「寺院で頂く料理は生命(いのち)の根源と人の世の定めを考える機会でもある」



この言葉は筆者が、かつて拙宅から徒歩8分の高麗橋通りにある日本料理の老舗・本吉兆の創設者で文化功労者の故湯木貞一氏から直接、耳にした。別の言葉で表現すれば「食へる」の原点であり本質である。

2016年9月26日の初秋、第54回食べ歩き会で信貴山宿坊の「千手院」で野菜・魚介などを使った懐石料理で湯木氏の言葉を直接体験した。千手院は奈良「食・グルメ自慢の宿」として平成24年度優秀賞を獲得しております。

当日、参加者20名は本堂で信貴山真言宗前管長／信貴山真言宗大本山千手院貫主・田中眞瑞猥下によるご祈禱を受けた。本堂の中央には毘沙門様、向

かって右は奥様の吉祥天、左には子供の善膩師童子(ぜんにしどうじ)があり、ご祈禱頂いた後のご法話で田中猥下は「この

三仏像は家庭円満こそが幸福の原点であると身をもって示されている。人と人との最初の出会いは家族。家族が円満であれば身体も健康となり、身体が健康であれば、勉学もよくできて商売も繁盛する。全ての現世利益の原点は家庭円満から始まる」と諭された。

身も心も清らかになっての食事。食卓の福寿箸袋には、  
**合掌 一滴の水にも天地の恵みがこもっております。一粒の米にも万人の力が加わっております。感謝しましょう。**

と書かれていたのが、印象的だった。食事の内容は十分に満足できるものであった。  
食後で人気のあったのはティーブルククロス紙の文言。  
「一つ聞いてもええか? 何がしたいんや 目標はあるんか どうなりしたいんや」

と書かれてあり、多くの方が心

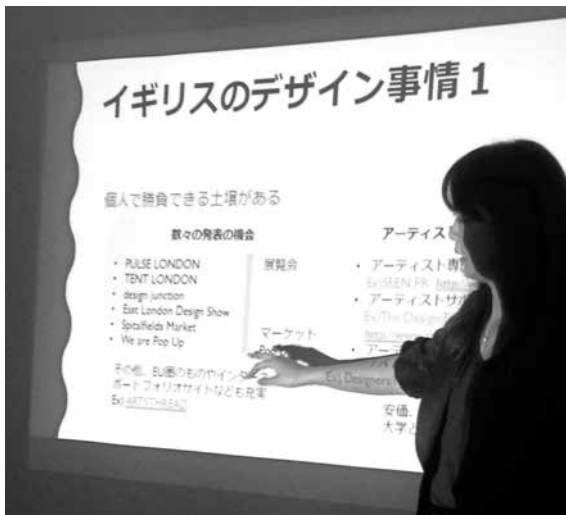
を動かされ、その紙を「ピーして欲しい」との希望があったのは想定外。

最後にこの楽しく心洗われる企画を運営された校友の田尾秀寛氏(信貴山千手院大阪分院院主)や鳴神静治氏(グルメ委員長)をはじめとする数多くのご尽力があったことは忘れられません。

中国の古い諺「一杯の湯飲み茶碗の水を飲む時は、その水の井戸を掘った人々の恩(おん)を忘れるな」との教えが思い出された。

同時に食事が平穩に頂けることは平和な暮らしがあってこそ。家族に不幸があったり病人があつたり、ストレスがあつたり、又、天変地異の時は食事が出来ないことは、誰しも実感してきている。

津野英男(昭40年政経)



講演では現在のインターネットの潮流をつぶさに語ってくれた

懇親会では竹田さん(左)と参加者がなごやかに語り合った

## Wフォーラム

# ネットの

# デザインの制作で世界へ

Wフォーラムの講演会が9月30日、ウェブ制作の最前線で活躍する竹田直美さん(平21年国際教養)を講師に迎え、梅田の関西文化サロンで開催された。同フォーラムの特別企画「早稲女シリーズ」の第5弾で、26人が参加した。

早稲田を出てデザイン関係の会社でホームページの制作をしていた竹田さん。技量をブラッシュアップさせるため一念発起してロンドンに留学した。芸術系では定評のあるセントマーチンズ大学に学び、3年の滞在を経て帰国し、現在は楽天の東京本社でウェブのプロデューサー兼ディレクター兼デザイナーとして、30歳ながらホームページ上の楽天市場のページデザインや広告企画制作を手掛けるチームを引っ張っている。

この日は、個性を伸ばすことに力を置き、チャンスを多く与えてくれたという留学時の様子や世界の最先端の流行に触れる

ことができるロンドンの暮らしなどをパソコンで映じた写真を示しながら紹介。

楽天は、英語検定のTOEICで800点を取り続けないと減給されるというシビアな面がある一方、創造力を引き出せるような自由闊達な雰囲気があることなどを話した。

1時間余りの講演だったが新鮮で興味深い話の数々に参加者は熱心に聞き入っていた。講演後の恒例の懇親会でも、自身のオリジナルデザインを世界に発信したいとの夢を持つ竹田さんを囲んで歓談が続いた。

竹田さんは、大阪天王寺高出身の大阪好き。留学前に大阪早稲田倶楽部に入会し、ロンドンのころも継続して入会。今は東京暮らしだが、ずっと倶楽部の会員でいてくれるとのことだ。倶楽部の至宝としてこれからもよろしくお願ひします。

小林一則(昭55年政経)

## よつこそ倶楽部へ 新入会員歓迎会

倶楽部の新入会員歓迎会が10月12日(水)、大阪新阪急ホテルで開催された。春秋の年2回開いている歓迎会で、この日は新会員13人を含め50人が参加した。

会員は10月現在で660人。月に5〜10人が入会。その一方で、転勤などでほぼ同数の方が退会され、会員数は横ばいだが、若い方から年輩の方まで新たに仲間入りしたくのは嬉しい限りだ。現会員の紹介だけでなく、ホームページを見てという方も増えている。

この日の新会員は、今年卒業で2週間前に大阪に着任したばかりという保険会社の営業マンや大手ゼネコンの関西支店長、大阪空港の航空管制官、早稲田摂陵中・高校の教諭、奥様も稲門という共同通信社会部記者、父親も子供も3世代早稲田という方、柔道部OBの柔道6段という猛者も。

それぞれに個性豊かで多彩な仲間が増えて何より。迎える現会員とも歓談が進み、終始なごやかな雰囲気にも包まれていた。



# 女子大見学ツアー 重文の女子大を見学

倶楽部の部会「湯ハビリ愉会」は9月24日(土)、西宮市にある神戸女学院大学のキャンパスツアーと洒落込んだ。重要文化財でもある校舎の見学だ。

参加は8名。阪急今津線の門戸厄神駅から街並みを抜け、うっそうとした岡田山の麓の正門(重文)に到着。しかし、木陰に隠れて校舎が見えない。ハイキング道のような坂



神戸女学院大の重文校舎をバックに記念撮影

道を上り、ようやく音楽館(重文)に。そして、クリーム色の外壁と赤銅色の屋根瓦が特徴的なスパンツシユミッシヨンの校舎群(重文)が見えて、講堂(重文)にたどり着いた。

女子学生のガイドで図書館(重文)やチャペル(重文)などの内部見学もあり、ヴォーリズ建築の細やかな設計配慮に感心した。

校内の「ビゴの店」でパンを購入、社交館(重文)ラウンジでランチ談笑。ソーサー付きの陶器カップのコーヒー(160円)がとても美味しかった。休日なので、学生の姿はほとんど見えず、学食も閉まっていた。お目当ての岡田山ランチが食べられなかったのは残念だったが、門があつてないような、人の往来が賑やかな早大のキャンパスと違って、何と違う静かさだろう。

見学後、阪急電車の乗換に次ぐ乗換で稲野駅近くのスパー銭湯「湯の華廊」でお彼岸の残暑の汗を洗い流し、館内で懇親会。充実した一日でした。

山口守(昭51年文)

## 次回以降の予定

来年1月・関空展望ホール。

3月・西本願寺世界遺産特別公開。

7月・同志社大学キャンパスツアー。

皆様のご参加お待ちしております。

## 新年会

1月21日(土)に開催  
文楽は14日(土)

大阪早稲田倶楽部と校友会大阪府支部共催の新年会を来年(平成29年)1月21日(土)午後1時より、シエラトン都ホテル大阪(近鉄上本町駅、地下鉄谷町9丁目駅下車)で開催します。

早稲田摂陵高ウインドバンドOG「みつばち会」による吹奏楽のステージもあります。みなさまぜひご参加ください。会費8千円(40歳以下は半額)。

なお、初春の文楽鑑賞は1月14日(土)の開催です。国立文楽劇場で午前10時より特別メニューの解説会、11時より「寿式三番叟」「奥州安達原」「本朝廿四考」の公演です。入場料(1等席)は定価の2割引きの4800円です。

新年会、文楽とも申し込みは倶楽部事務局へ。

## 大阪

### 早稲田リレーマラソンの

### 開催中止

来年2月4日に吹田市で開催予定だった「第1回大阪 早稲田リレーマラソン」(主催・NPO法人ウセダクラブなど)は諸般の事情により、中止となりました。

